

奈良墨の歴史と 多彩な書の文化を 未来へつなぐ

千年を超える歴史を持つ奈良の地場産業「奈良墨」。世界一質の高い墨作りの伝統を守り続けてきた職人や匠たち、そして墨の持つチカラに魅せられ多彩な活動を続ける書家やアーティストたちが一同に会し、奈良墨の新たな未来を語り合う。

開催日
2022年 2月17日(木)

参加費
無料

■開演/13:00(開場12:30) ■終了/15:00

■定員/来場:先着100名様 オンライン:先着100名様

■会場/奈良公園バスターミナル レクチャーホール ※アクセスは裏面へ



主催:奈良新しい学び旅推進協議会

奈良SDGs学び旅シンポジウム 奈良墨の歴史と 多彩な書の文化を 未来へつなぐ

奈良墨は飛鳥時代に高句麗の僧曇徴により伝えられた松煙墨がルーツとされており、興福寺・二諦坊での墨作りが市井に伝わり、江戸中期には奈良町付近に40軒近くの墨屋が立ち並びまでに発展しました。今も日本の墨の9割以上を生産する質の高い伝統的な墨づくりは、革新を繰り返しながら継承されてきましたが、書道人口の減少や「書く」という機会の激減等、墨を取り巻く環境も時代と共に変わり、伝統産業ならではの課題も抱えています。

■ プログラム

第1部
5分

オープニング・コンセプトムービー上映
「奈良墨の歴史が
紡いだ多彩な書の文化」



奈良墨の老舗の工房や伝統的な技法、墨に魅せられ活動を続けるアーティストたちの書のパフォーマンス等で構成される奈良墨の物語。

第2部
45分

基調対談
「奈良墨の価値を未来へつなぐ」

全国でもトップレベルの書道科を持つ奈良教育大学で、長年にわたり教鞭をとり、書道史研究の専門家でもある谷川雅夫氏と奈良墨・松壽堂の七代目主人森克容氏が奈良墨の持つ世界的な価値と伝統産業としての課題、未来への可能性について語り合います。



松壽堂
代表
森 克容 氏



奈良教育大学
教授
谷川 雅夫 氏

第4部
10分

奈良SDGs学び旅2022 新商品プレゼンテーション
「奈良墨の歴史が紡いだ多彩な書の文化を学ぶ旅」 4コースの紹介

第3部
60分

アーティストトーク
「墨の魅力を多彩に! 世界へ」



書家
桃溪 氏



Sumi Ink Artist
クリスティン・プリント・サト 氏



妖怪書家/書家
逢香 氏

奈良県奈良市在住 / 1982年 東京学芸大学芸術科 書道卒業 / 1983年 故今井凌雪に師事 / 2013年より書活動再開 / 神社仏閣(石上神宮、春日大社、氷室神社、談山神社、海龍王寺、聖林寺、宝勝寺)での奉納揮毫 / 近年映像作品や音楽家との共演によるライブドローイングを展開

奈良県生駒市在住 / 1977年 英国・ダラム大学卒業 哲学・心理学学士 / 1978・1986年 ロンドン・リッチモンド成人学校で色彩学と応用を学ぶ / 1982~92年 故川邊清華(毎日書道会)に師事、中国水墨画は李庚に師事 / 日本・英国で古典や墨ワークショップを開催 / その他日本の書や墨に関する著書も出版 / 2015・2019年 京都現代水墨展 大賞受賞

奈良県奈良市在住 / 奈良教育大学 伝統文化教育専攻 書道教育専修 卒業 / 元大阪府立高校書道教諭 / 奈良市観光大使 / 2021年3月よりNHK奈良にて初の冠番組「逢香の華やく大和」が放送

■ 参加申込・お問い合わせ先 「奈良新しい学び旅推進協議会 事務局」 (公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ内)



電話申込

0742-20-7807

受付時間 / 平日10:00~17:00まで

【来場参加される方へ】
受付時に消毒と検温、来場者情報記入シートの記入をお願いします。検温時の体温が37.5度以上の方の入場はご遠慮いただく場合があります。

■ 会場へのアクセス

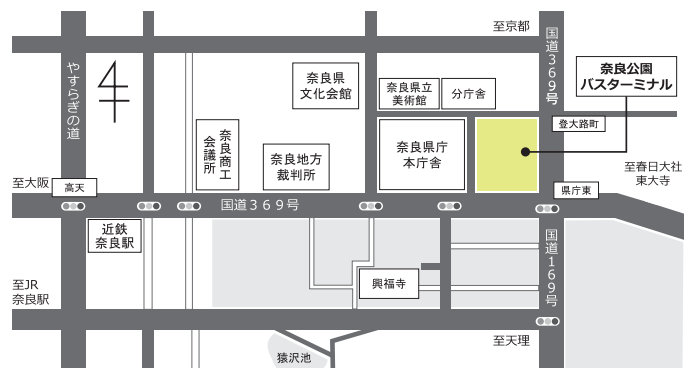
奈良公園バスターミナル レクチャーホール
〒630-8213 奈良県奈良市登大路町76 県庁本庁舎東側
TEL. 0742-81-3151 <https://npbt.jp/>

路線バス

奈良交通市内循環バス「県庁前」バス停下車

電車

近鉄: 東改札より、1番出口を出てそのまま東へ徒歩約10分
JR: 東出口バスターミナルから奈良交通2系統市内循環バス(外まわり)に乗車10分「県庁前」バス停下車



※駐車場はございませんので、お車での来場はお近くの駐車場または公共交通機関をご利用ください。